

雨水浸透阻害行為の許可申請に係る 手引き書

～共同住宅敷地造成工事編～

本工事は、田畑等の耕作地を共同住宅敷地(複数区画)として造成する工事であり、本申請は、本工事に係る雨水浸透阻害行為に対する対策工事を行うものである。

雨水浸透阻害行為に対する対策工事としては、

- ・ 雨水浸透側溝、雨水浸透枡の設置
- ・ 調整池の設置

を行い、行為前の流出量に対して、行為後の流出量が下回るよう対策を講じた。

共同住宅敷地造成工事編

■ 許可申請に必要な書類

様式番号	名称	明示すべき事項
様式－１	現況土地利用区分面積集計表(行為前)	
様式－２	計画土地利用区分面積集計表(行為後)	
様式－３	行為前後の土地利用集計表	
様式－４	雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数	
様式－５	雨水浸透阻害行為前後の雨水流出量の最大値	
様式－６	政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類	
様式－８	貯留浸透施設の管理に関する実施計画書	
別記様式第1号	雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書	工事の方針、行為区域内の土地の現況及び土地利用計画並びに対策工事に係る雨水貯留浸透施設の計画
別記様式第2	雨水浸透阻害行為許可申請(協議)書	

図面番号	名称	明示すべき事項
図面－１	行為区域位置図(縮尺 1/50,000 以上)	
図面－２	行為区域区域図(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－３	現況平面図(行為前)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－４	現況土地利用求積図(行為前)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－５	土地利用計画図(行為後)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－６	土地利用計画求積図(行為後)(縮尺 1/2,500 以上)	
図面－７	排水施設計画平面図(縮尺 1/2,500 以上)	排水施設の位置、排水系統、吐口の位置及び放流先の名称
図面－８	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図(縮尺 1/2,500 以上)	対策工事の計画位置又は計画区域及び集水区域
図面－９	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の計画図 雨水貯留浸透施設の形状(縮尺 1/2,500 以上) 雨水貯留浸透施設の構造の詳細(縮尺 1/500 以上)(プラスチック製品の品質証明書)	平面図、縦断面図及び横断面図 流入口及び放流孔の構造を含むものであること。
図面－１０	標識設置位置図(縮尺 1/500 以上)	

資料番号	名称	明示すべき事項
資料－１	土地の登記事項を示す書類(全部事項証明書の写し)	
資料－２	公図の写し	
資料－３	開発許可等に伴う対策量算定結果	
資料－４	事業概要説明書、事業概要図	
資料－５	現況写真(写真撮影位置図を添付)	
資料－６	工事工程表	
資料－７	その他必要な資料(委任状、印鑑証明の写し、同意書の写し)	

特定都市河川浸水被害対策法における
雨水浸透阻害行為の許可申請ガイド

関 係 様 式 目 録

[illegible][illegible]

現況土地利用区分面積集計表（行為前）

様式－ 1

(単位 : ha)

計画土地利用区分面積集計表（行為後）

様式－２

エリア No	宅地等										舗装された土地		その他土地からの流出 雨水量を増加させるお それのある行為に係る 土地				左記以外の土地					
	宅地	池沼	水路	ため池	道路 （法面 を有し ないも のに限 る。）	道路 （法面 を有す るもの に限る。）	鉄道線 路（法 面を有 しない ものに 限る。）	鉄道線 路（法 面を有 するも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有し ないも のに限 る。）	飛行場 （法面 を有す るもの に限る。）	コンク リート 等の不 透性の 材料に よって 覆われ た土地 （法面 を除く）	コンク リート 等の不 透性の 材料に よって 覆われ た法面	ゴルフ 場（雨 水を排 除する ための 排水施 設を伴 うもの）	運動場 その他 これに 類する 施設（ 雨水を 排除す るため の排水 施設を 伴うも のに限 る）	ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い て締め られた土 地	山地	人工的 に造成 された 植生に 覆われ た法面	林地、 耕地、 原野そ の他、 ロー ラーそ の他こ れに類 する建 設機械 を用い ていな い土地				
1	0.0399				エリア毎に面積を示すこと。 「図-6土地利用計画求積図（行為後）」に示す面積と整合を図ること 開発区域内の土地利用区分を変更しない箇所についても面積を計上すること																	
2	0.0392																					
3	0.0444																					
4											0.0282											
5		0.0145																				
6					0.0270																	
7			0.0068																			
小計 1	0.1235	0.0145	0.0068		0.0270						0.0282											
小計 2	0.1718										0.0282											
合 計											0.2000											

エリア毎に面積を示すこと。
「図-6土地利用計画求積図（行為後）」に示す面積と整合を図ること
開発区域内の土地利用区分を変更しない箇所についても面積を計上すること

行為前と行為後の面積が一致していること
（様式-1と様式-2の合計が一致していること）

（単位：ha）

行為前後の土地利用集計表

様式－3

土地利用区分			①欄 様式-1	②欄 様式-2	③欄	④欄	参考	備 考
土 地 利 用 区 分			現況土地利用 面積 (ha) ①	計画土地利用 面積 (ha) ②	面積差 (ha)	雨水浸透阻害行為の当該面積	流出係数	
			様式－1 小計1の欄	様式－2 小計1の欄	②－①	③欄が（＋）の場合、原則該当 該当の場合面積 (ha) を記入		
宅地等	宅 地			0.123456	0.123456	0.123456	0.9	宅地等の区 分同士の増 減は対象と しない。
	池 沼			0.014500	0.014500	0.014500	1	
	水 路			0.006760	0.006760	0.006760	1	
	た め 池						1	
	道路（法面を有しないものに限る。）			0.027039	0.027039	0.027039	0.9	
	道路（法面を有するものに限る。）						加重平均	
	鉄道線路（法面を有しないものに限る。）						0.9	
	鉄道線路（法面を有するものに限る。）						加重平均	
	飛行場（法面を有しないものに限る。）						0.9	
	飛行場（法面を有するものに限る。）						加重平均	
	小 計			0.171754	0.171754	0.171754		
舗装された 土地	コンクリート等の不透水性の材料により覆われた土地（法面を除く）			0.028246	0.028246	0.028246	0.95	
	コンクリート等の不透水性の材料により覆われた法面						1	
	小 計			0.028246	0.028246	0.028246		
その他土地 からの流出 雨水量を増 加させるお そのある 行為に係る 土地	ゴルフ場（雨水を排除するための排水施設を伴うもの）						0.5	
	運動場その他これに類する施設（雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る。）						0.8	
	ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地						0.5	
	小 計							
上記に掲げ る土地以外 の土地	山 地						0.3	
	人工的に造成された植生に覆われた法面						0.4	
	林地、耕地、原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いていない土地		0.200000		-0.200000		0.2	
	小 計		0.200000		-0.200000			
合 計			0.2000	0.2000	0.0000	0.2000		

（－）の欄は記載不要

（単位：ha）

④欄の合計 0.2000 ha

0.1ha（1,000m²）以上の場合、申請の対象

申請の対象となる面積であるか

雨水浸透阻害行為前後の平均流出係数

行為区域位置 住所：〇〇市〇〇区〇〇町

行為面積 0.2000 h a

行為前後の土地利用区分

区分		土地利用の形態の細区分	流出係数	行為前面積 (ha)	行為後面積 (ha)
宅地等に該当する土地	第1号関連	宅地	0.90		0.123456
		池沼	1.00		0.014500
		水路	1.00		0.006760
		ため池	1.00		
		道路(法面を有しないもの)	0.90		0.027039
		道路(法面を有するもの)			
		鉄道線路(法面を有しないもの)	0.90		
		鉄道線路(法面を有するもの)			
		飛行場(法面を有しないもの)	0.90		
		飛行場(法面を有するもの)			
宅地等以外の土地	関第2連号	不浸透性材料により舗装された土地(法面を除く)	0.95		0.028246
		不浸透性材料により覆われた法面	1.00		
	第3号関連	ゴルフ場(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.50		
		運動場その他これに類する施設(雨水を排除するための排水施設を伴うものに限る)	0.80		
		ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められた土地	0.50		
	土第3記以外に1の掲号土げか地るら	山地	0.30		
		人工的に造成され植生に覆われた法面	0.40		
		林地, 耕地, 原野その他ローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固められていない土地	0.20	0.200000	
その他					
面積計				0.2000	0.2000
平均流出係数				0.200	0.918

※ 様式－1, －2, 図面－3, －4, －5, －6参照

雨水浸透阻害行為前後の最大雨水流出量

合理式 $Q = 1/360 \cdot f \cdot r \cdot A$

行為区域に該当する流域と一致しているか

Q: 流量 (m^3/s)

f: 流出係数 (様式－4より)

r: 最大降雨強度(10分間) (mm/h) (本川流域基準降雨より)

A: 集水面積 (ha) (様式－4より)

① 行為前の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.200 \times 124.6 \times 0.2000 = 0.01384 \text{ m}^3/\text{s}$$

② 行為後の最大雨水流出量

$$Q = 1/360 \times 0.918 \times 124.6 \times 0.2000 = 0.06355 \text{ m}^3/\text{s}$$

よって,

$$0.06355 \text{ m}^3/\text{s} - 0.01384 \text{ m}^3/\text{s} = 0.04971 \text{ m}^3/\text{s}$$

0.04971 m^3/s 分をカットする対策が必要。

平面・詳細図に示す規格と整合は図れているか

様式一6

流出抑制施設諸元

調整池諸元
放流口径(2段オリフィスの場合は、上・下段の両諸元を記載)

放流口位置(2段オリフィスの場合は、上段の神筋元と記載)		下段	上段(2段オリフィスの場合)
放流口形状	形状	矩形	
	直径		
	高さ	0.080	
	幅	0.080	
管底位置(池底から)		0.100	

調整池諸元	ポンプ諸元(ポンプ排水を用いた場合)
-------	--------------------

調整池が複数ある場合エリアごとに明記
容量の端数は切り捨て表記

構造図等に示す数量と整合は図れているか
影響係数をマニュアルp3-11に従って修正

浸透施設諸元	
浸透能力	0.00286 m3/s

【浸透マス】	単位設計浸透能(m ³ /hr/個)		設置数量 (個)	影響係数		
	比浸透量(m)	飽和透水係数 (m/hr)		(1) 内容(1)	(2) 内容(2)	(3) 内容(3)
1	11.256	0.12	2	0.90	0.90	1.00
2				1.00	1.00	1.00
3				1.00	1.00	1.00
4				1.00	1.00	1.00
5				1.00	1.00	1.00
6				1.00	1.00	1.00
7				1.00	1.00	1.00
8				1.00	1.00	1.00
9				1.00	1.00	1.00
10				1.00	1.00	1.00

明記	單位設計浸透能(m ³ /hr/m)		設置數量 (m)	影響係數		
	比浸透量(m ³)	飽和透水係數 (m/hr)		(1)	(2)	(3)
				內容(1)	內容(2)	內容(3)
				0.90	0.90	1.00
				1.00	1.00	1.00
				1.00	1.00	1.00
				1.00	1.00	1.00
5				1.00	1.00	1.00
6				1.00	1.00	1.00
7				1.00	1.00	1.00
8				1.00	1.00	1.00
9				1.00	1.00	1.00
10				1.00	1.00	1.00

【透水性舗装】	単位設計浸透能(m ³ /hr/m ²)		設置数量 (m ²)	影響係数		
	比浸透量(m ²)	飽和透水係数 (m/hr)		(1) 内容(1)	(2) 内容(2)	(3) 内容(3)
1				1.00	1.00	1.00
2				1.00	1.00	1.00
3				1.00	1.00	1.00
4				1.00	1.00	1.00
5				1.00	1.00	1.00
6				1.00	1.00	1.00
7				1.00	1.00	1.00
8				1.00	1.00	1.00
9				1.00	1.00	1.00
10				1.00	1.00	1.00

空餘貯留量諸元
空餘貯留量 2.681 m3

【浸透マス】	体積 (m ³)	空隙率 (%)
1	1.640	35.00
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【浸透トレンチ】	体積 (m3)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

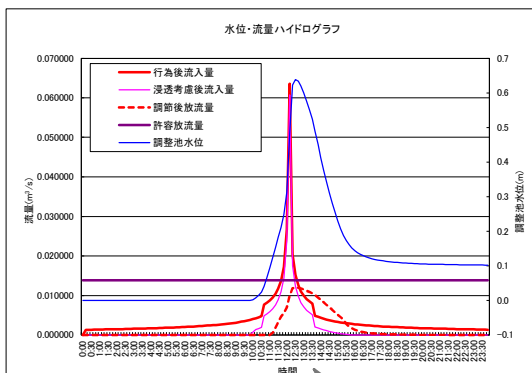
【透水性塗装】	体積 (m3)	空隙率 (%)
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

【その他】	体積 (m3)	空隙率 (%)
1	6.02	35.00
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

空隙率はマニュアルp4-6を参照

調節計算結果

最大流入量(行為後)	0.063550 m ³ /s		
最大放流量	0.012002 m ³ /s	< 許容放流量	0.013840 m ³ /s



様式-5（雨水浸透阻害行為の最大雨水流出量）の
「①行為前の最大雨水流出量」を下回っているか

軸ラベル、凡例等グラフが正しく記載されているか

貯留浸透施設の管理に関する実施計画書

特定都市河川浸水被害対策法第3条により特定都市河川流域の指定を受けた〇〇川流域において、法第30条「雨水浸透阻害行為の許可」を受けるにあたり法第32条（許可の基準）に基づく対策工事として設置した雨水貯留浸透施設の機能を十分に発揮・維持させるため、下記に基づき管理を実施する。

記

- 第1条 この管理実施計画書の対象とする雨水貯留浸透施設は、次に所在するものとする。
所在地 〇〇〇〇
- 第2条 この管理実施計画書を実施する責任者（実質管理者）は以下の者とする。
氏名 〇〇〇〇
- 第3条 この管理実施計画書において雨水貯留浸透施設とは、雨水浸透阻害行為による流出雨水量の増加を抑制するために施行した雨水を一時的に貯留し、又は浸透させる施設をいい、具体的には、貯留機能又は浸透機能を発揮するための敷地、浸透枳、浸透側溝、調整池の総体をいう。
- 2 雨水貯留浸透施設の位置、範囲及び機能の概要は、別図のとおりとする。
（別図：平面図、標準横断面図、構造図）
- 第4条 管理者は雨水貯留浸透施設に関し、その機能を維持する上で必要な範囲内において、別表に示す点検作業（定期点検、緊急点検、機能点検）を実施するとともに、点検作業が必要と認められた場合には清掃、修繕工事等を行うものとする。
- 2 また、維持管理作業の内容は施設台帳や維持管理記録を作成し保管するとともに、その後の維持管理に役立てるものとする。
- 第5条 雨水貯留浸透施設の管理者を変更する場合や管理者を複数に分割する場合は、新たな管理者が当該施設の維持管理を引き継ぐこととする。
- 第6条 雨水貯留浸透施設の機能を損なうおそれのある以下の行為を行う場合には法第39条に基づいてあらかじめ都道府県知事の許可を得るものとする。
- ・雨水貯留浸透施設の全部又は一部の埋め立て
 - ・雨水貯留浸透施設の敷地である土地の区域における建築物等の新築、改築又は増築
 - ・雨水貯留浸透施設が設置されている建築物等の改築又は除去
 - ・そのほか雨水貯留浸透施設が有する雨水を一時的に貯留し、又は地下に浸透させる機能を阻害するおそれのある行為
- 第7条 宅地又は、建物の売買にあたっては、宅地建物取引業法に基づく手続きの際に、雨水貯留浸透施設の機能を阻害するおそれのある行為（法第39条）を行う場合は許可が必要であること、および標識の移転等の行為（法第38条第5項）を行う場合は設置者の承諾が必要であることを重要事項説明（宅地建物取引業法第35条）に明記するものとする。
- 第8条 対策工事伴い設置する雨水貯留浸透施設の存在と維持管理者を表示した標識の保全に努めるものとする。

別表

分	類	作 業 内 容	頻 度
点検作業	定期点検	・破損、陥没、変形、蓋のずれ等の状況確認 ・ゴミ、土砂、枯れ葉等の堆積状況確認 ・樹根の進入状態の確認	年1回以上
	緊急点検	・点検の内容は定期点検と同様	地震時
	機能点検	・機能の評価（簡易浸透試験）	定期点検の結果より必要に応じて代表施設で実施
清掃・修繕工事等	清掃・土砂搬出等	・清掃、樹根の除去 ・土砂搬出等の通常の清掃作業	点検作業が必要と認められた場合に実施
	修繕・補修工事等	・破損、陥没箇所及び劣化損耗箇所の補修・修繕・改良工事	
	機能回復作業	・透水シートの交換洗浄・碎石の人力による洗浄又は高圧洗浄	

雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画説明書										
設計者 (法人の場合は、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)	住所	郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇〇〇								
	氏名	〇〇〇〇								
雨水浸透阻害行為の区域に含まれる地域の名称	〇〇〇〇 対策工事の計画が正確に明示されているか									
雨水浸透阻害行為に関する工事及び対策工事の計画の方針	共同住宅新設による土地の雨水流出量増加に対して、浸透枵、浸透側溝及び調整池を設置し、従前の雨水流出量に抑える。 様式-1（現況土地利用区分面積集計表（行為前））と整合が図れているか									
行為区域(対策工事に係る雨水貯留浸透施設の集水区域が行為区域の範囲を超えるときは、当該超える区域を含む。)内の土地の現況	宅地	池沼	水路	ため池	道路 (法面無)	道路 (法面有)	鉄道線路 (法面無)	鉄道線路 (法面有)	飛行場 (法面無)	飛行場 (法面有)
	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)
	舗装された土地 (法面を除く。)	舗装された土地 (法面に限る。)	ゴルフ場	運動場	締め固められた土地	山地	植生に覆われた法面	林地・耕地・原野その他	合計	
							(㎡)	2,000 (㎡)	2,000 (㎡)	
行為区域(対策工事に係る雨水貯留浸透施設の集水区域が行為区域の範囲を超えるときは、当該超える区域を含む。)内の土地利用計画	宅地	池沼	水路	ため池	道路 (法面無)	道路 (法面有)	鉄道線路 (法面無)	鉄道線路 (法面有)	飛行場 (法面無)	飛行場 (法面有)
	1,234.55 (㎡)	145.00 (㎡)	67.60 (㎡)	(㎡)	270.39 (㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)
	舗装された土地 (法面を除く。)	舗装された土地 (法面に限る。)	ゴルフ場	運動場	締め固められた土地	山地	植生に覆われた法面	林地・耕地・原野	合計	
	282.46 (㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	(㎡)	2,000 (㎡)	
対策工事 雨水貯留浸透計画	行為前の流出係数				0.200		行為後の流出係数		0.918	
	行為前の流出雨水量				0.01384 (㎡³/秒)		行為後の流出雨水量		0.06355 (㎡³/秒)	
	図面と整合は図れているか 雨水貯留浸透施設の計画		名称		容量又は規模及び構造		管理者(帰属先)			
			浸透枵		2箇所		申請者			
			浸透側溝		33.96m		申請者			
			調整池		96.0 ㎡		申請者			
		対策後放流量		0.012002 ㎡³/s						

その注 1 様式-6（政令第9条第1項に規定する技術的基準に適合することを証する書類）と整合が図れているか
等に記載すること。
2 用紙の大きさは、日本産業規格A列4とする。

雨水浸透阻害行為
協議書

許可申請

該当に○をする

特定都市河川浸水被害対策法 第30条 第35条 許可を申請 協議 令和○年○月○日 広島県知事 様 住所 ○○○○ 氏名 ○○○○	※ 手数料欄
---	-----------

雨水浸透阻害行為等の概要	1 雨水浸透阻害行為の区域に含まれる地域の名称	○○○○
	2 雨水浸透阻害行為区域の面積	2,000 平方メートル
	3 雨水浸透阻害行為に関する工事の計画の概要	鉄筋コンクリート造2階建て共同住宅建設による宅地造成計画の詳細は別葉の計画説明書及び図面に記載
	4 対策工事の計画の概要	浸透側溝・柵及び調整池の設置
	5 雨水浸透阻害行為に関する工事の着手予定日	令和○年○月○日
	6 雨水浸透阻害行為に関する工事の完了予定日	令和○年○月○日
	7 対策工事の着手予定日	令和○年○月○日
	8 対策工事の完了予定日	令和○年○月○日
	9 その他必要な事項	農地法第5条の規定による許可申請予定

※受付番号	年 月 日	第 号
※許可に付した条件	他法令を記載	
※許可番号		第 号

備考

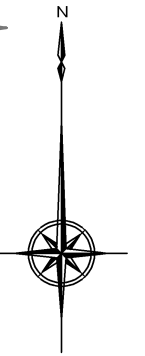
- 1 「許可申請 協議」 「第30条 第35条」 「許可を申請 協議」 については、該当するものを○で囲むこと。
- 2 許可申請者が法人である場合においては、氏名は、その法人の名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 3 ※印のある欄は記載しないこと。
- 4 雨水浸透阻害行為に関する工事の計画及び対策工事の計画については、概要の記述の末尾に「（計画の詳細は、別葉の計画説明書及び計画図による。）」と記載し、それぞれ計画説明書及び計画図を別葉とすること。
- 5 「その他の必要な事項」の欄には、雨水浸透阻害行為を行うことについて、都市計画法、農地法その他の法令による許可、認可等を要する場合には、その手続の状況を記載すること。

特定都市河川浸水被害対策法における
雨水浸透阻害行為の許可申請ガイド

関 係 図 面 目 録

行為区域位置図

方位と縮尺を示すこと



S=1:2,000

接続先道路及び主要道路を示すこと

放流先施設を示すこと

雨水浸透阻害行為の区域

行為区域が分かるように表示

行為区域周辺の主要な公共施設等を示すこと

航空写真でも可

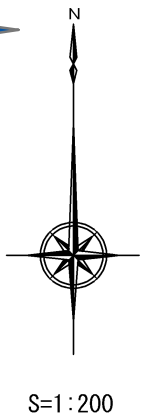
凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

縮尺 1/50,000以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	行為区域位置図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:2000	図面番号	1
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

行為区域区域図

方位と縮尺を示すこと



6.0m

現況区域住所：〇〇〇〇
現況区域敷地面積：2,000㎡

土地の地番を示すこと

行為区域が分かるように表示

接続先道路等関連する
公共施設を示すこと

〇〇〇〇区〇〇号線

県界、市町界等が
ある場合明示すること

畑

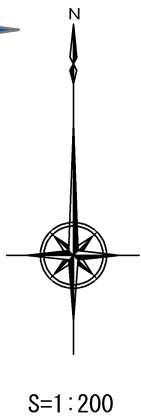
縮尺 1/2,500以上

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	行為区域区域図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	2
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

現況平面図（行為前）

方位と縮尺を示すこと



6.0m

〇〇〇〇区〇〇〇〇線

行為区域が分かるように表示

現況土地利用区分を示すこと

畑

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域
	林地、耕地、原野、その他..

縮尺 1/2,500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	現況平面図（行為前）		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	3
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

現況土地利用求積図（行為前）

方位と縮尺を示すこと



行為区域が分かるように表示

現況土地利用区分が複数含まれる場合
それぞれ求積すること

現況土地利用区分を示すこと

畑

求積方法を示すこと（座標求積、三斜求積、CAD）

面積集計表

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
k-1	-38.347	-2.222	1917.350000	50.000
k-2	-38.347	47.778	1917.350000	40.000
k-3	1.653	47.778	82.650000	50.000
k-4	1.653	-2.222	82.650000	40.000
倍面積			4000.000000	180.000
面積			2000.00	

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域
	林地、耕地、原野、その他..

様式-1（現況土地利用区分面積集計表（行為前））と整合が図れているか
（単位がmの場合は小数第一位を四捨五入した数字を様式-1に記入）

縮尺 1/2, 500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	現況土地利用求積図（行為前）		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	4
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

土地利用計画図(行為後)

方位と縮尺を示すこと



行為区域が分かるように表示

排水施設の位置、形状及び水の流れの方向を示すこと

接続先道路を示すこと

調整池諸元を示すこと

関連する他法令は必要に応じて協議すること

計画土地利用区分を示すこと

宅地(エリア2)
S=391.70㎡

2
FH=10.10
0.039170ha

駐車場
(エリア4)
S=282.46㎡

調整池(エリア5)
S=145.00㎡

調整池容量
V = 7.5 × 16.0 × 0.8
= 96.0m3
天端=10.00m
HWL= 9.70m
池底= 8.90m
(水位=0.80m)

オリフィス □8cm × 8cm

道路加工・占用申請

2号集水樹300 × 300

側溝・樹(エリア7)
S=67.60㎡

側溝 300 × 300
L=7.50m

側溝 300 × 300 L=25.18m

浸透樹300 × 300

道路(エリア6)
S=270.39㎡

側溝 300 × 300 L=25.45m

側溝 300 × 300 L=23.14m

側溝 300 × 300 L=23.01m

側溝 300 × 300
L=5.84m

1号集水樹300 × 300

1号集水樹300 × 300

畑

様式-2 (計画土地利用区分面積集計表(行為後))と整合が図れているか

宅地(エリア3)
S=443.96㎡

3
FH=10.10
0.044396ha

宅地(エリア1)
S=398.89㎡

1
FH=10.00
0.039889ha

浸透側溝 150 × 150 L=16.98m

側溝 150 × 150 L=17.00m

凡 例			
色 別	種 別	面 積 (m2)	率 (%)
	宅 地	1234.55	61.727
	駐 車 場 (不浸透性アスファルト)	282.46	14.123
	道 路 (法面を有しないもの)	270.39	13.520
	調 整 池	145.00	7.250
	雨水排水施設	67.60	3.380
	雨水浸透阻害行為 の区域	2000.00	100.000
	市 道		

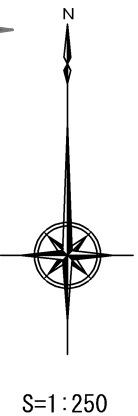
縮尺 1/2,500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	土地利用計画図(行為後)		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	5
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

土地利用計画求積図(行為後)(1/3)

方位と縮尺を示すこと

現況区域住所：〇〇〇〇
現況区域敷地面積：2,000㎡



行為区域が分かるように表示

排水施設は土地利用区分：水路
として計上すること

G
側溝・柵
(エリア7)

B
宅地(エリア2)

D
駐車場
(エリア4)

E
調整池
(エリア5)

F
道路(エリア6)

C
宅地(エリア3)

A
宅地(エリア1)

様式-2 (計画土地利用区分面積集計表(行為後))に
示すエリアを明示すること

縮尺 1/2,500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	土地利用計画求積図(行為後)		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	6-1
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

土地利用計画求積図(行為後)(2/3)

方位と縮尺を示すこと

求積方法を示すこと(座標求積、三斜求積、CAD)

様式-2(計画土地利用区分面積集計表(行為後))と整合が図れているか(単位が㎡の場合は小数第一位を四捨五入した数字を様式-2に記入)

行為区域が分かるように表示

B 宅地(エリア2)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
B-1	1.653	22.423	40.742263	24.645
B-2	1.653	-2.222	40.742263	14.500
B-3	-12.847	-2.222	127.233443	9.904
B-4	-12.847	7.682	152.927112	3.202
B-5	-15.347	9.682	223.697378	12.576
B-6	-15.347	22.258	193.003708	0.020
B-7	-15.327	22.258	2.528927	0.165
B-8	-15.327	22.423	2.528927	16.980
倍面積			783.404021	81.992
面積			391.70	

D 駐車場(不浸透性アスファルト舗装)(エリア4)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
D-1	1.653	39.249	27.468316	16.616
D-2	1.653	22.633	27.468316	16.980
D-3	-15.327	22.633	2.528927	0.165
D-4	-15.327	22.798	2.528927	0.020
D-5	-15.347	22.798	252.464456	16.451
D-6	-15.347	39.249	252.464456	17.000
倍面積			564.923398	67.232
面積			282.46	

面積集計表

種別	面積(㎡)
A 宅地(エリア1)	398.89
B 宅地(エリア2)	391.70
C 宅地(エリア3)	443.96
D 駐車場(エリア4)	282.46
E 調整池(エリア5)	145.00
F 道路(エリア6)	270.39
G 側溝・樹(エリア7)	67.60
合計	2000.00

S=1:250

E 調整池(エリア5)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
E-1	1.653	47.778	14.100528	8.529
E-2	1.653	39.249	14.100528	17.000
E-3	-15.347	39.249	130.899469	8.529
E-4	-15.347	47.778	130.899469	17.000
倍面積			289.999994	51.058
面積			145.00	

F 道路(エリア6)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
F-1	-15.847	47.278	-387.930509	24.480
F-2	-15.847	22.798	-387.930509	0.020
F-3	-15.867	22.798	-8.568090	0.540
F-4	-15.867	22.258	-8.568090	0.020
F-5	-15.847	22.258	-203.099962	12.816
F-6	-15.847	9.442	-234.793631	3.202
F-7	-13.347	7.442	-148.998222	9.164
F-8	-13.347	-1.722	-122.304553	7.500
F-9	-20.847	-1.722	530.564201	25.451
F-10	-20.847	23.729	530.564201	0.020
F-11	-20.827	23.729	11.246490	0.540
F-12	-20.827	24.269	11.246490	0.020
F-13	-20.847	24.269	479.673399	23.009
F-14	-20.847	47.278	479.673399	5.000
倍面積			540.774614	111.782
面積			270.39	

C 宅地(エリア3)

C 宅地(エリア3)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
C-1	-21.367	23.894	-3.525527	0.165
C-2	-21.367	23.729	-3.525527	0.020
C-3	-21.347	23.729	-553.962913	25.951
C-4	-21.347	-2.222	-553.962913	17.000
C-5	-38.347	-2.222	1001.450140	26.116
C-6	-38.347	23.894	1001.450140	16.980
倍面積			887.923400	86.232
面積			443.96	

A 宅地(エリア1)

A 宅地(エリア1)

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
A-1	-21.347	47.423	-494.273396	23.154
A-2	-21.347	24.269	-494.273396	0.020
A-3	-21.367	24.269	-3.525527	0.165
A-4	-21.367	24.104	-3.525527	16.980
A-5	-38.347	24.104	894.225624	23.319
A-6	-38.347	47.423	894.225624	17.000
倍面積			792.853402	0.000
面積1			396.43	

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
A-7	-21.347	47.778	-3.095291	0.145
A-8	-21.347	47.633	-3.095291	17.000
A-9	-38.347	47.633	5.560291	0.145
A-10	-38.347	47.778		
倍面積				
面積2				
面積1				
面積2			2.47	
(エリア1)合計			398.89	

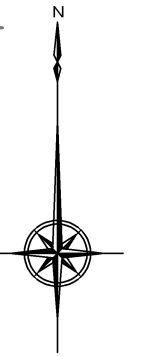
縮尺 1/2,500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	土地利用計画求積図(行為後)		
年月日	令和〇年〇月		
縮尺	S=1:250	図面番号	6-2
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

様式-2（計画土地利用区分面積集計表（行為後））と整合が図れているか
（単位が㎡の場合は小数第一位を四捨五入した数字を様式-2に記入）

土地利用計画求積図（行為後）(3/3)

方位と縮尺を示すこと



S=1:250

面積集計表

種別	面積(㎡)
A 宅地（エリア1）	398.89
B 宅地（エリア2）	391.70
C 宅地（エリア3）	443.96
D 駐車場（エリア4）	282.46
E 調整池（エリア5）	145.00
F 道路（エリア6）	270.39
G 側溝・樹（エリア7）	67.60
合 計	2000.00

G 側溝⑤

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-12	-15.347	22.258	-193.003708	12.576
G-13	-15.347	9.682	-223.697378	3.202
G-14	-12.847	7.682	-146.503695	9.404
G-15	-12.847	-1.722	-120.810026	0.500
G-46	-13.347	-1.722	122.304553	9.164
G-45	-13.347	7.442	148.998222	3.202
G-44	-15.847	9.442	234.793631	12.816
G-43	-15.847	22.258	203.099962	0.500
倍面積			25.181561	51.364
面積			12.59	

G 樹④

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-15	-12.847	-1.722	-6.423417	0.500
G-16	-12.847	-2.222	-6.423417	0.500
G-17	-13.347	-2.222	6.673417	0.500
G-46	-13.347	-1.722	6.673417	0.500
倍面積			0.500000	2.000
面積			0.25	

種別	面積(㎡)
側溝①	2.50
側溝②	0.42
側溝③	11.57
側溝④	3.57
側溝⑤	12.59
側溝⑥	3.75
側溝⑦	12.73
側溝⑧	3.57
側溝⑨	11.50
側溝⑩	3.57
樹①	0.25
樹②	0.25
樹③	0.29
樹④	0.25
樹⑤	0.25
樹⑥	0.29
樹⑦	0.25
合 計	67.60

求積方法を示すこと（座標求積、三斜求積、CAD）

G 側溝⑥

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-46	-13.347	-1.722	-6.673417	0.500
G-17	-13.347	-2.222	-6.673417	7.500
G-18	-20.847	-2.222	10.423417	0.500
G-47	-20.847	-1.722	10.423417	7.500
倍面積			7.500000	16.000
面積			3.75	

G 樹⑤

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-47	-20.847	-1.722	-10.423417	0.500
G-18	-20.847	-2.222	-10.423417	0.500
G-19	-21.347	-2.222	10.673417	0.500
G-20	-21.347	-1.722	10.673417	0.500
倍面積			0.500000	2.000
面積			0.25	

G 樹⑥

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-50	-20.827	24.269	-11.246490	0.540
G-49	-20.827	23.729	-11.246490	0.540
G-22	-21.367	23.729	11.538090	0.540
G-27	-21.367	24.269	11.538090	0.540
倍面積			0.583200	2.160
面積			0.29	

G 側溝⑦

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-48	-20.847	23.729	-530.564201	25.451
G-47	-20.847	-1.722	-530.564201	0.500
G-20	-21.347	-1.722	543.289495	25.451
G-21	-21.347	23.729	543.289495	0.500
倍面積			25.450588	51.902
面積			12.73	

G 側溝⑧

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-26	-21.367	24.104	-4.487035	0.210
G-23	-21.367	23.894	-4.487035	16.980
G-24	-38.347	23.894	8.052835	0.210
G-25	-38.347	24.104	8.052835	16.980
倍面積			7.131600	34.380
面積			3.57	

G 側溝⑨

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-52	-20.847	47.278	-479.673399	23.009
G-51	-20.847	24.269	-479.673399	0.500
G-28	-21.347	24.269	491.178105	23.009
G-29	-21.347	47.278	491.178105	0.500
倍面積			23.009412	47.018
面積			11.50	

G 側溝⑩

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-33	-21.347	47.278	-10.423417	0.500
G-30	-21.347	47.278	-10.423417	0.500
G-31	-38.347	47.278	10.673417	0.500
G-32	-38.347	47.633	8.052835	17.000
倍面積			7.140000	34.420
面積			3.57	

縮尺 1/2,500以上

G 樹②

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-3	-15.347	46.438	-7.673417	0.500
G-4	-15.347	45.938	-7.673417	0.500
G-39	-15.847	45.938	7.923417	0.500
G-38	-15.847	46.438	7.923417	0.500
倍面積			0.500000	2.000
面積			0.25	

G 側溝②

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-2	-15.347	47.278	-12.891341	0.840
G-3	-15.347	46.438	-12.891341	0.500
G-38	-15.847	46.438	13.311341	0.840
G-37	-15.847	47.278	13.311341	0.500
倍面積			0.840000	2.680
面積			0.42	

G 樹①

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-1	-15.347	47.778	-7.673417	0.500
G-2	-15.347	47.278	-7.673417	0.500
G-37	-15.847	47.278	7.923417	0.500
G-36	-15.847	47.778	7.923417	0.500
倍面積			0.500000	2.000
面積			0.25	

G 側溝①

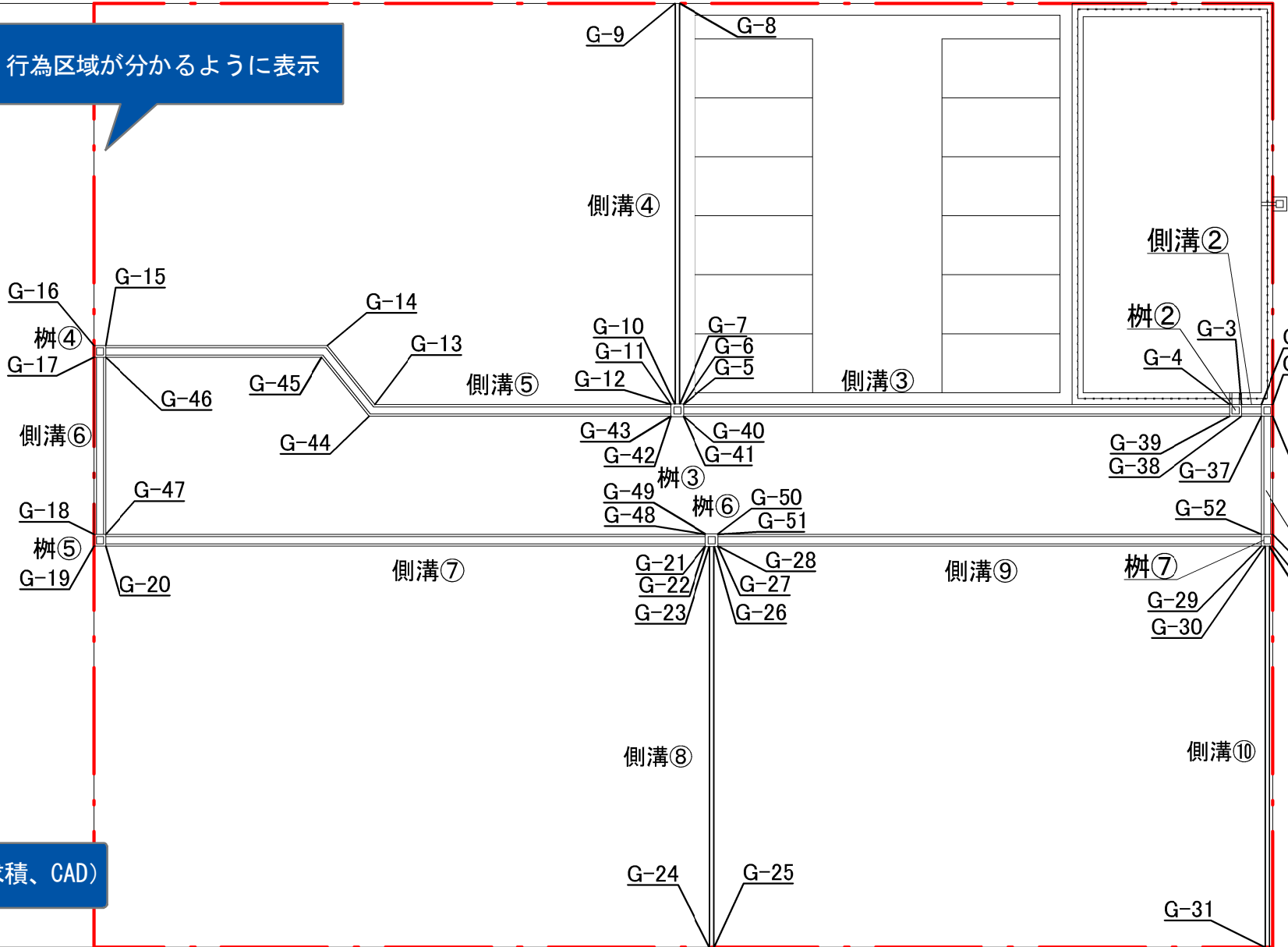
測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-36	-15.847	47.778	-7.923417	0.500
G-37	-15.847	47.278	-7.923417	5.000
G-52	-20.847	47.278	10.423417	0.500
G-35	-20.847	47.778	10.423417	5.000
倍面積			5.000000	11.000
面積			2.50	

G 樹⑦

測点	Xn	Yn	Xn・(Yn+1 - Yn-1)	距離
G-35	-20.847	47.778	-10.423417	0.500
G-52	-20.847	47.278	-10.423417	0.500
G-29	-21.347	47.278	10.673417	0.500
G-34	-21.347	47.778	10.673417	0.500
倍面積			0.500000	2.000
面積			0.25	

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	土地利用計画求積図（行為後）		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:250	図面番号	6-3
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

行為区域が分かるように表示



排水施設計画平面図

方位と縮尺を示すこと



調整池諸元を示すこと

関連する他法令は必要に応じて協議すること

道路加工・占用申請

放流先を示すこと

吐口の位置を示すこと

動水勾配及び方向を示すこと

縮尺 1/2, 500以上

排水施設の位置、形状及び水の流れの方向を示すこと
流末まで適切に排水される計画となっているか

行為区域が分かるように表示

アスファルト舗装 S=282.46㎡

調整池(エリア5)
S=145.00㎡

調整池容量
V = 7.5 × 16.0 × 0.8
= 96.0m³
天端=10.00m
HWL= 9.70m
池底= 8.90m
(水位=0.80m)

オリフィス □8cm × 8cm

駐車場
(エリア4)
S=282.46㎡

宅地(エリア2)
S=391.70㎡

2
FH=10.10
0.039170ha

側溝・樹(エリア7)
S=67.60㎡

道路(エリア6)
S=270.39㎡

浸透樹300 × 300

宅地(エリア1)
S=398.89㎡

1
FH=10.00
0.039889ha

宅地(エリア3)
S=443.96㎡

3
FH=10.10
0.044396ha

畑

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域
	雨水排水施設
	貯留施設

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	排水施設計画平面図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	7
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図

方位と縮尺を示すこと



調整池諸元を示すこと

関連する他法令は必要に応じて協議すること

道路加工・占用申請

放流先を示すこと

行為区域が分かるように表示

吐口の位置を示すこと

動水勾配及び方向を示すこと

縮尺 1/2,500以上

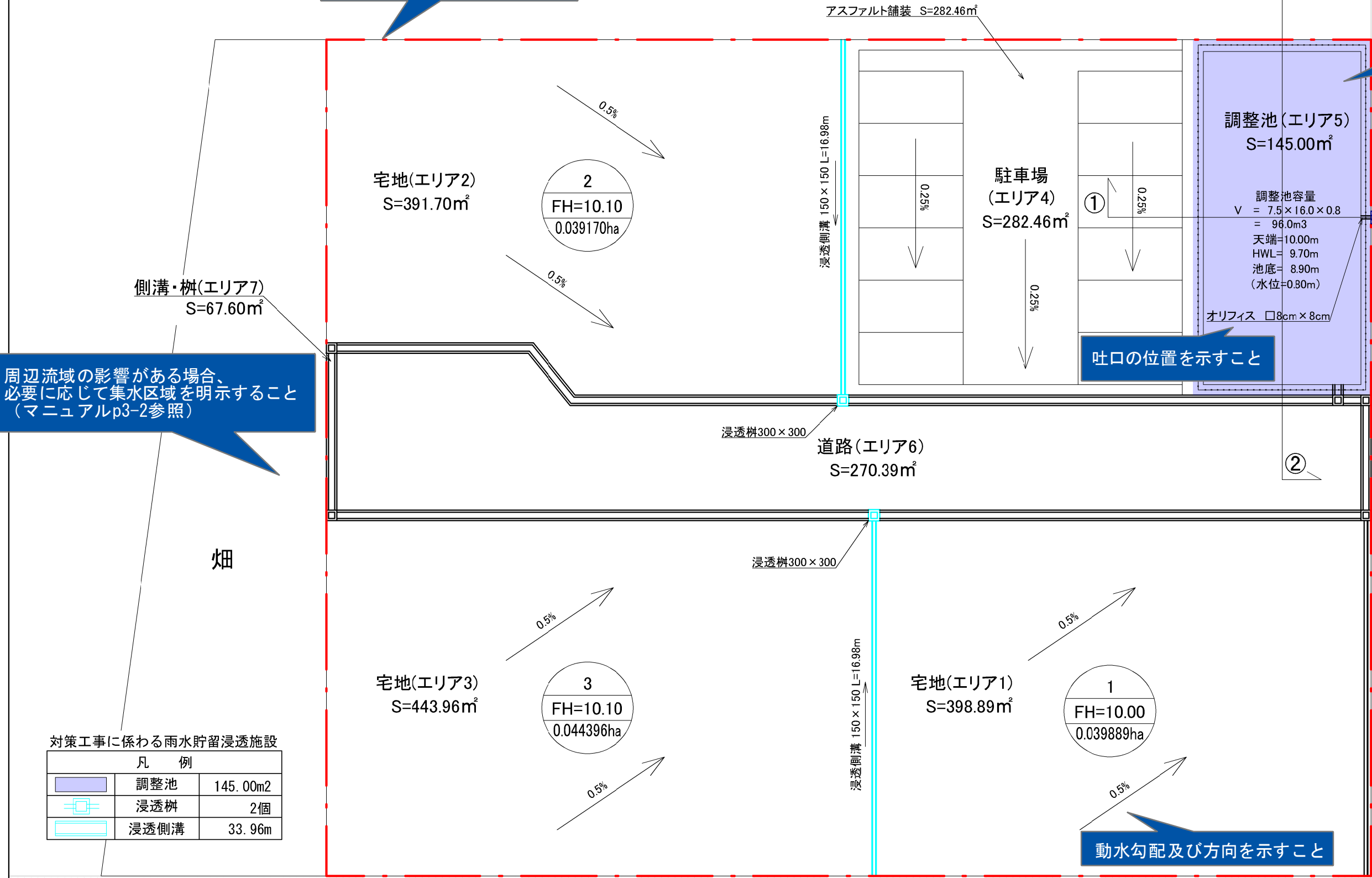
周辺流域の影響がある場合、必要に応じて集水区域を明示すること
(マニュアルp3-2参照)

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設

凡 例		
	調整池	145.00m ²
	浸透枡	2個
	浸透側溝	33.96m

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の位置図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	8
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		



必要に応じて適宜断面を追加すること

対策工事に係わる雨水貯留浸透施設の計画図

調整池断面図

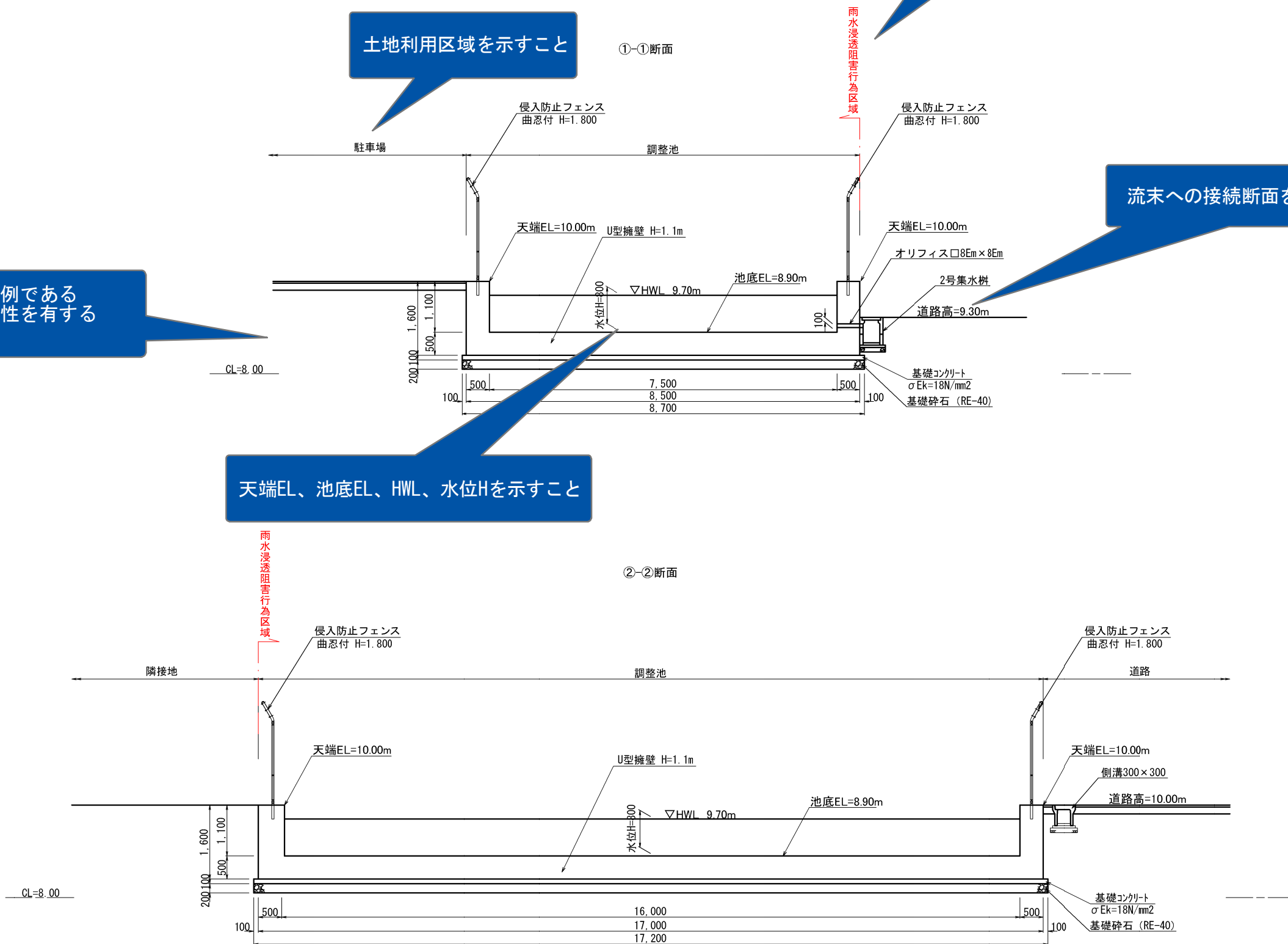
区域境界を示すこと

土地利用区域を示すこと

流末への接続断面を示すこと

※本図の調整池構造は一例である
必要強度と十分な安全性を有する
構造とすること

天端EL、池底EL、HWL、水位Hを示すこと



凡 例		
色 別	種 別	
---	雨水浸透阻害行為の区域	

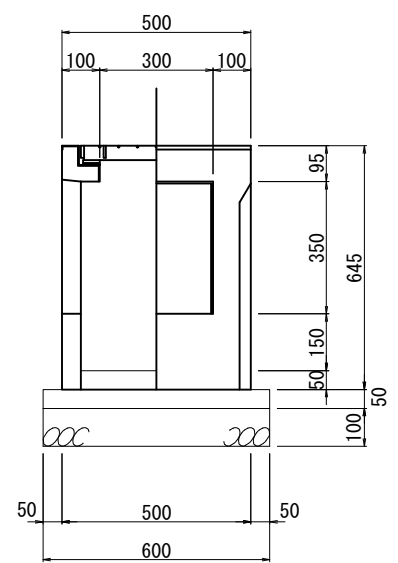
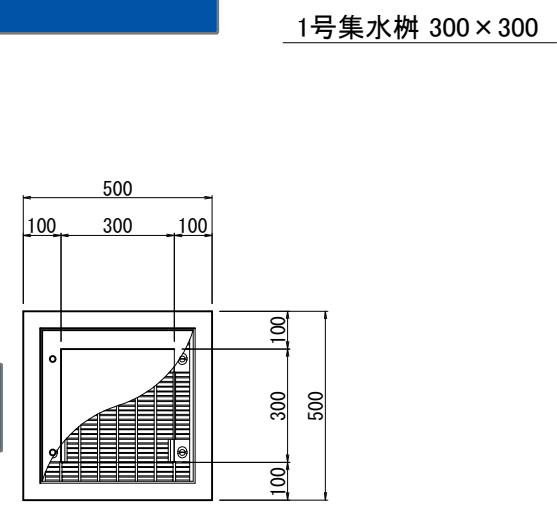
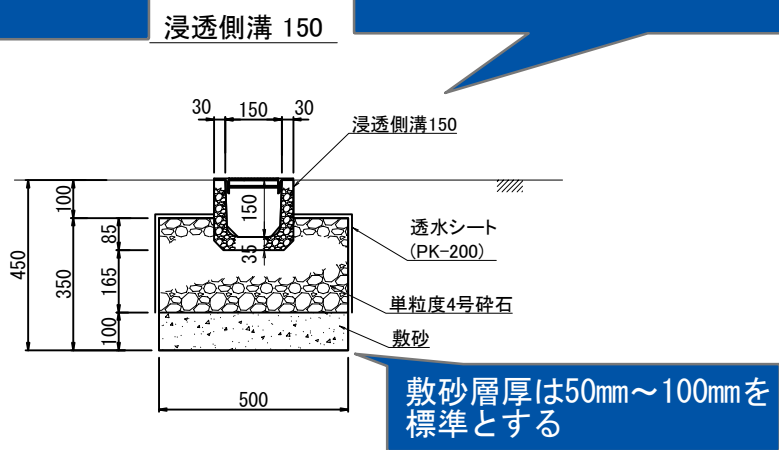
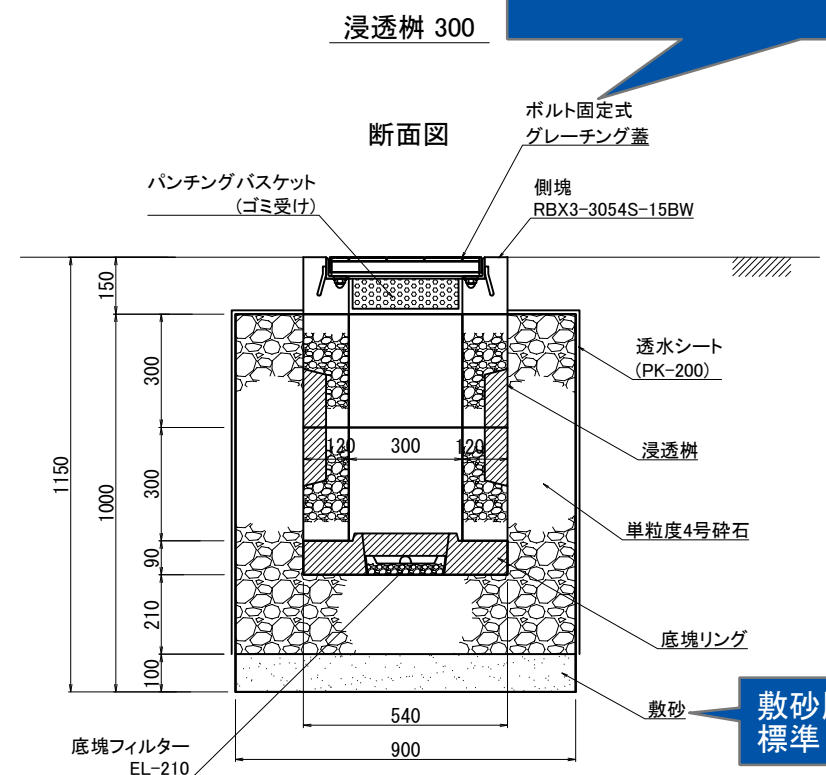
形状 1/2, 500以上
構造の詳細 1/500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	調整池断面図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:100	図面番号	9-1
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

排水施設構造図

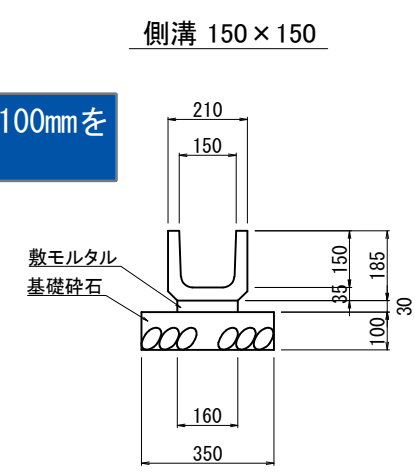
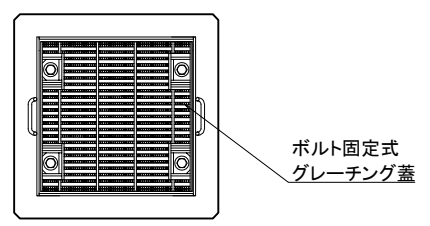
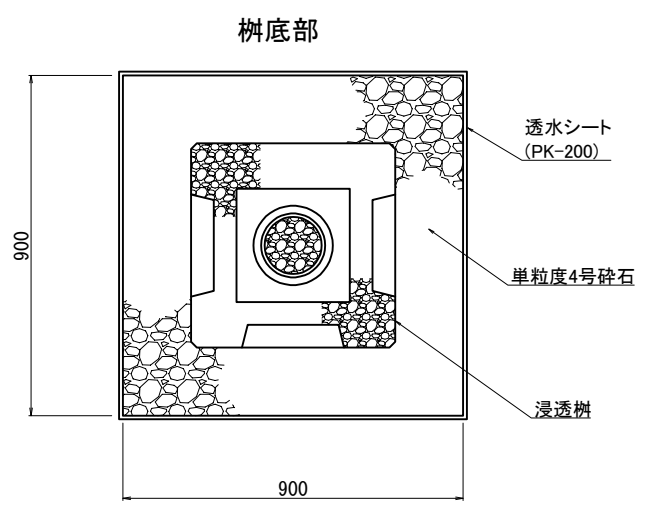
マニュアルp4-5に即した材質となっているか

マニュアルp4-5に即した材質となっているか

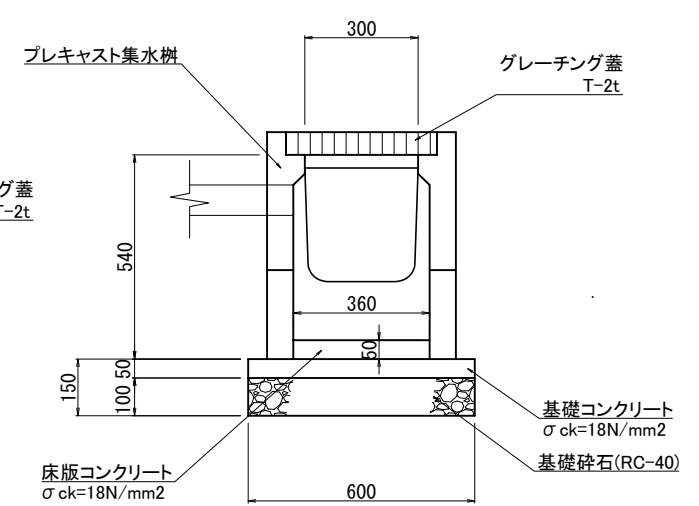
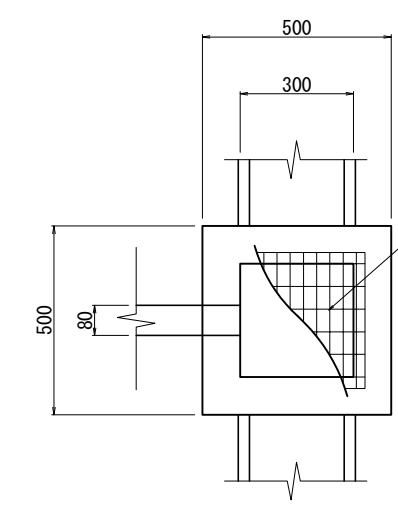
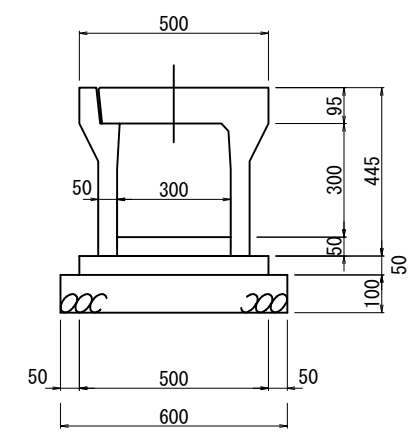


流末への接続断面を示すこと
放流先へ適切に排水される
構造とすること

2号集水柵 300×300



側溝 300×300

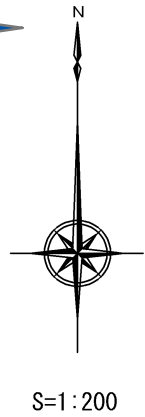


縮尺 1/500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	排水施設構造図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	1:20	図面番号	9-2
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

標識設置位置図

方位と縮尺を示すこと



6.0m

〇〇〇〇区〇〇号線

行為区域が分かるように表示

宅地(エリア2)

駐車場
(エリア4)

調整池
(エリア5)

標識 300mm×150mm
フェンスへ設置

設置方法を示すこと

道路(エリア6)

畑

宅地(エリア3)

宅地(エリア1)

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域
	フェンス

縮尺 1/500以上

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	標識設置位置図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	10
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

特定都市河川浸水被害対策法における
雨水浸透阻害行為の許可申請ガイド

関 係 資 料 目 録

表 題 部 (土地の表示)		調製		不動産番号	
地図番号		筆界特定	余 白		
所 在				余 白	
① 地 番	②地 目	③ 地 積	町 反 畝 歩 町	原因及びその日付〔登記の日付〕	
				余 白	
余 白	余 白				
余 白	余 白	余 白			

所在と一致しているか

権 利 部 (甲 区) (所 有 権 に 関 す る 事 項)			
順位番号	登 記 の 目 的	受付年月日・受付番号	権 利 者 そ の 他 の 事 項
1			
	余 白	余 白	
2			

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

登記官

表 題 部 (土地の表示)		調製		不動産番号	
地図番号		筆界特定	余 白		
所 在				余 白	
① 地 番	② 地 目	③ 地 積	町 反 畝 歩 (町)	原因及びその日付〔登記の日付〕	
				余 白	
余 白	余 白				
余 白	余 白	余 白			

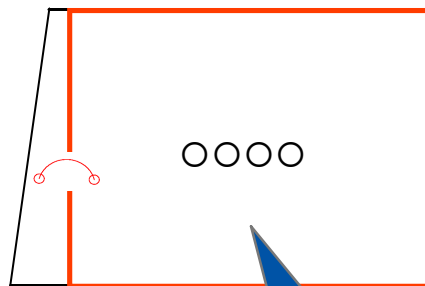
所在と一致しているか

権 利 部 (甲 区) (所 有 権 に 関 す る 事 項)			
順位番号	登 記 の 目 的	受付年月日・受付番号	権 利 者 そ の 他 の 事 項
1			
	余 白	余 白	
2			
3			

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

登記官

雨水浸透阻害区域住所 : ○○○○
雨水浸透阻害区域敷地面積 : ○○○○m²



所在と一致しているか

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域

地番
区域見出

請 求 部 分	所 在	○○○○	地 番	○○○○						
出 力 尺	△△	精 度 分	△△	座 標 系 番 号 又 は 記 号	△△	分 類	△△	種 類	△△	
作 成 年 月 日	令和○年○月○日				備 付 年 月 日 (原 図)	令和○年○月○日				補 記 事 項

(1/1)

法務局から転写した年月日を示す
(インターネット登記情報提供サービス
を利用することも可)

写真位置図

畑

6. 0m

○○区○○号線

S=1:200

凡 例	
色 別	種 別
	雨水浸透阻害行為の区域
	林地、耕地、原野、その他..

工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	写真位置図		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1:200	図面番号	資料-5(位置図)
会社名	○○○○○○○○○○		
事業者名	○○○○○○○○○○○○○○		

現況写真

写真-①



写真-②



写真-③



写真-④

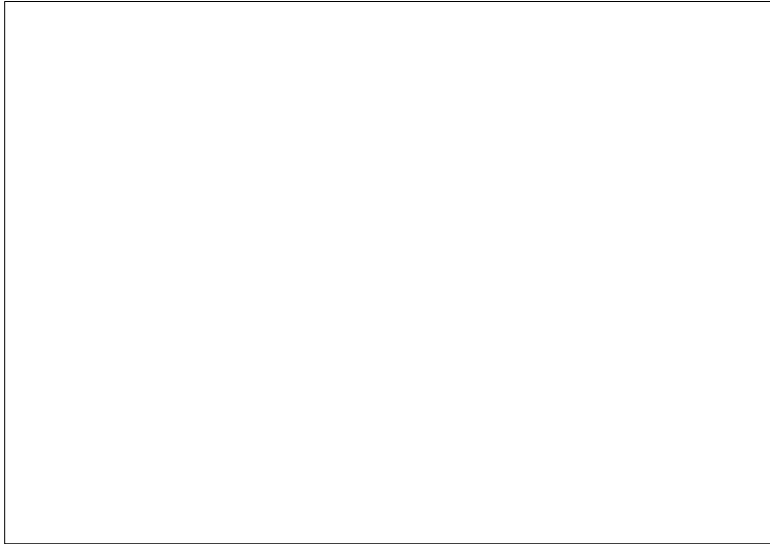


写真-⑤

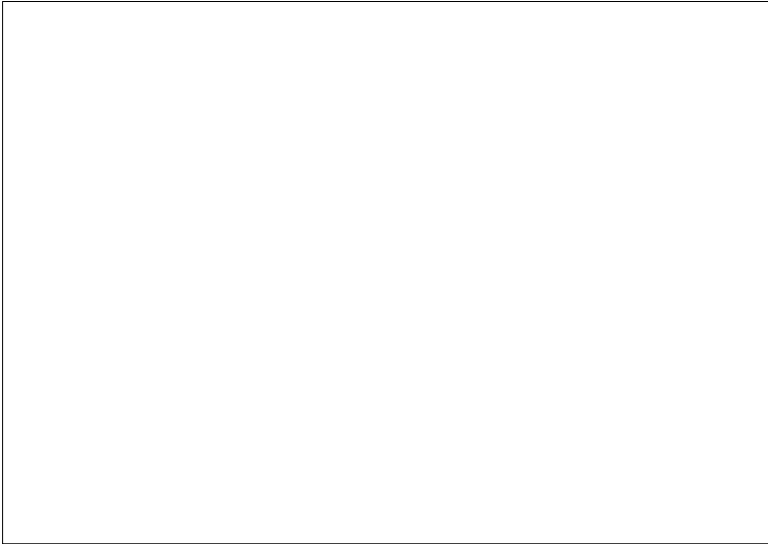


写真-⑥

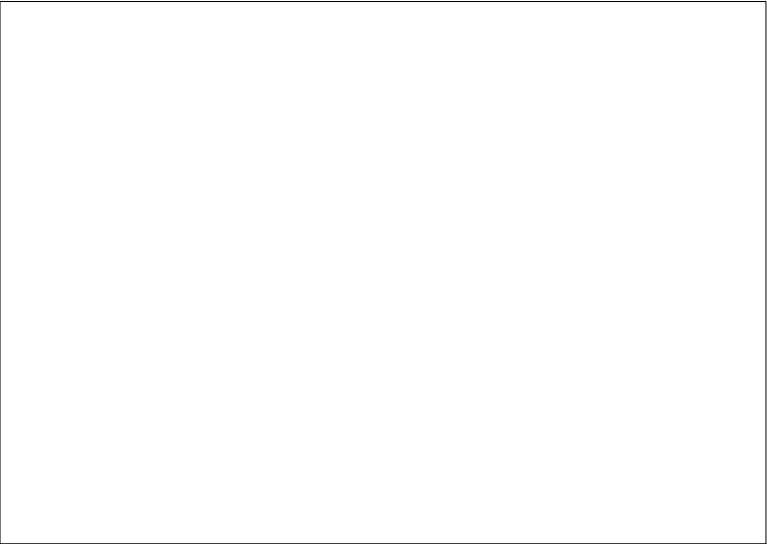
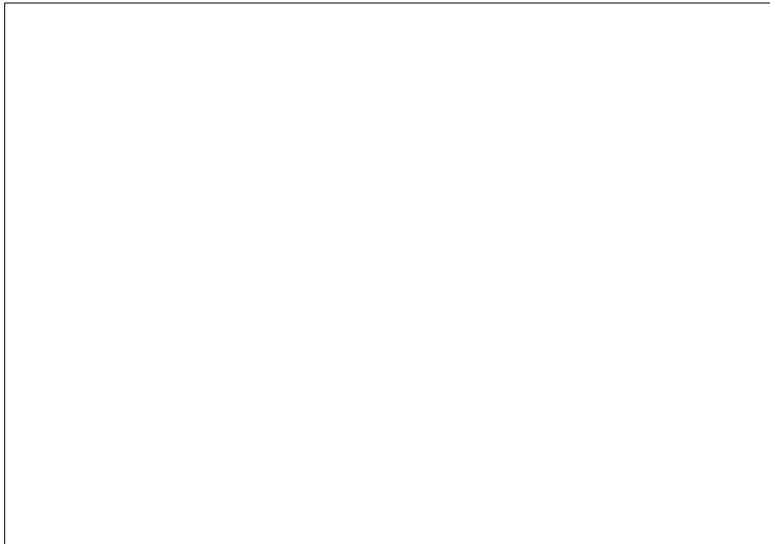


写真-⑦



工事名	共同住宅敷地造成工事		
図面名	現況写真		
年月日	令和〇年〇月		
縮 尺	S=1：200	図面番号	資料-5(現況写真)
会社名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		
事業者名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		

事業計画工程表

事業名称

共同住宅敷地造成

工事

作成日 令和〇年〇〇月〇〇日

[illegible]

委任状

令和〇年〇〇月〇〇日

委任者 住所 ◇◇◇◇◇

名前 ◇◇◇◇◇

印

私は、以下の地域における「共同住宅敷地造成工事」に伴う雨水浸透阻害行為許可申請に関する一切の権限を「△△△△（受任者）」に委任します。

〇〇〇〇（雨水浸透阻害行為区域の名称）

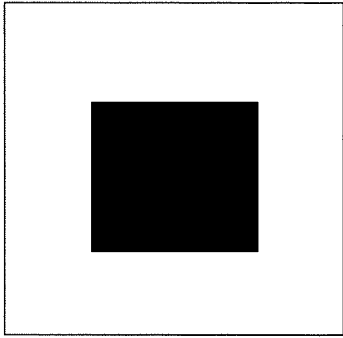
行為区域の住所が別記様式第2と一致しているか

受任者 会社名 △△△△

住所 △△△△

氏名 △△△△

印鑑証明書



会社法人等番号



商号



本店



これは提出されている印鑑の写しに相違ないことを証明する。

